

平成 28 年度

公益財団法人いわき市教育文化事業団予算書
(抜粋)

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日

公益財団法人いわき市教育文化事業団

目 次

	ページ
・ 事業計画書	1
・ 収支予算書	9

事業計画書

平成 28 年 度 事 業 計 画

平成28年度は、当財団が公益財団法人として3年目を迎え、これまで以上に公平・公正に市民の利益向上に努め、教育文化の振興に寄与することを目的に健全な事業運営に取り組んでまいります。

埋蔵文化財の発掘調査事業は、市内の遺跡発掘調査をはじめ、東日本大震災被災市町村の発掘調査を受託し、市内・外の復興を加速させるとともに、文化財の保護及び啓発・広報事業を積極的に推進してまいります。

教育文化及び生涯学習施設の管理運営事業においては、福島県から受託の1施設、いわき市から受託の7施設の計8施設の指定管理者として、利用者のニーズを捉え、常設展及び企画展の開催、講座・講演会や体験学習会など、市・県民の付託に応じてまいります。

1 文化財部門(公1 埋蔵文化財の発掘調査事業)

(1) 事業計画

当該年度の事業は、一般住宅等の試掘調査が1件、本発掘調査では泉第三土地区画整理事業のほか檜葉町・矢祭町を含む3件、また、本発掘調査の終了後に行われる資料整理・報告書作成・刊行では広野町・檜葉町の2件を含む11件を予定しております。

これらの事業を実施するに当たっては、本発掘調査における安全な作業環境の確保と事故防止、事業の円滑化に努めるとともに、調査遺跡や出土資料の公開・展示などの活用を図ってまいります。

No.	事業名	委託者	遺跡名	事業内容
1	市内遺跡発掘調査	いわき市 (文化・スポーツ課)	市内一円	試掘・本発掘調査、 整理・報告書作成
2	泉第三土地区画整理事業 埋蔵文化財発掘調査 (その1)	いわき市 (小名浜区画整理 事務所)	泉町A遺跡	本発掘調査
3	県道小名浜道路建設事業	県いわき建設事 務所	江畑堀ノ内館 跡	本発掘調査
4	基幹農道整理事業	矢祭町	我満平遺跡	本発掘調査
5	竜田駅東側開発事業用地 本発掘調査(商業施設)	檜葉町	高橋遺跡2次	本発掘調査
6	埋蔵文化財発掘出土品等 整理	いわき市 (文化・スポーツ課)	館山横穴群・ 久保ノ作古墳 群	報告書作成、刊行

No.	事業名	委託者	遺跡名	事業内容
7	市内遺跡発掘調査 (報告書作成) (復興交付金)	いわき市 (文化・スポーツ課)	酒井酒井原遺跡・北境遺跡 ・泉城跡下町遺跡	整理・報告書作成 ・刊行
8	市内遺跡発掘調査 (復興交付金・H28)	いわき市 (文化・スポーツ課)	神谷作101号墳	整理・報告書作成 ・刊行
9	泉第三土地区画整理事業 埋蔵文化財発掘調査 (その2)	いわき市 (小名浜区画整理事務所)	泉町A遺跡 ほか	整理・報告書作成
10	泉第三土地区画整理事業 埋蔵文化財発掘調査 (その3)	いわき市 (小名浜区画整理事務所)	泉町C遺跡 2区外	整理・報告書作成 ・刊行
11	餓鬼堂地区埋蔵文化財 発掘調査	いわき市 (市林務課)	餓鬼堂横穴群	報告書作成・刊行
12	寺前・源道平線埋蔵文化財 発掘調査	いわき市 (勿来区画整理事務所)	後田遺跡・ 後田古墳群	整理・報告書作成 ・刊行
13	桜田IV遺跡埋蔵文化財発掘調査	広野町	桜田IV遺跡	整理・報告書作成 ・刊行
14	竜田駅東側開発事業用地 本発掘調査(ホテル)	檜葉町	高橋遺跡	整理
15	竜田駅東側開発事業用地 本発掘調査(商業施設)	檜葉町	高橋遺跡	整理

2 施設部門(公2 教育文化施設の管理運営事業)

(1) 事業計画

ア いわき市アンモナイトセンター

一般体験発掘事業は、個人や家族を対象とした体験発掘を毎週土曜日・日曜日の他、5月・9月の連休及び8月のお盆休みの実施に向けて取り組んでいきます。特に、利用者の要望が多い、開館日となる祝日にも体験発掘を実施します。特別体験発掘事業は、学校などの団体を対象としたカリキュラムとして、一般体験発掘実施日以外の開館日に実施します。

親子自然探訪教室は、ハッピーマンデーとなる祝日を中心に年6回、親子を対象とした自然科学分野に関する各種体験教室として開催します。身の回りの自然や現象に触れることで、自然科学分野への興味を深め、科学する心を育てます。

企画展は、小・中学校の夏休みにあわせ「いわきの大地を探る I～地質と石

材～」を、冬休みには「いわきの大地を探るⅡ～地層と化石～」を開催し、いわきから産出する鉱石や化石、人類の歴史と石材の関わり等への理解を深める企画展示・体験を実施します。

公開シンポジウム(化石講演会)は、9月に久之浜中学校を会場に、古生物分野の専門講師がいわき地域の地層と化石に関する講演を行い、地元の小・中学生や一般市民に古生物の魅力を伝えることを目的に開催します。

出前講座は、学校での授業や各種イベントに出向き、いわきの地層とアンモナイトに関するお話の他、ミニ体験発掘・化石クリーニング体験やコハクのアクセサリーづくりなどを通して、化石への興味関心を深めるとともに、アンモナイトセンターの魅力を知るきっかけ作りを目的として実施します。

イ いわき市考古資料館

企画展は、6～8月に第1回企画展「平成27年度発掘速報展」、9～11月に市制50周年記念事業として、第2回企画展近世いわきの藩展Ⅲ「磐城平藩一井上・安藤時代ー」、1～3月に第3回企画展道具の歴史Ⅲ「遺跡から出土した木の道具」、4～12月にミニ企画展「リベンジ!湯長谷藩展」の4回開催します。理解を深めていただくため、展示解説会、遺跡報告会、講演会、探訪会等の事業をあわせて開催します。

講座は成人を対象とした「いわきの考古学講座」を全6回、夏休みの児童を対象とした「自由研究に挑戦しよう!!」、質の高いボランティアを養成する「ボランティア養成講座」を開催します。

体験学習会は、「GW体験学習会」・「夏休み体験学習会」・「古代まつり」のほか、「勾玉づくり体験会」を今までの夏・冬休みに加えて、来館者から問い合わせの多いGWも新たに追加し、計17回開催します。夏休み最後の土曜日には「いわきキッズミュージアム」を開催します。

歴史に関する問合せや資料の貸出及び団体への解説や体験指導、また、要請により出向いて実施する出前講座等についても、積極的に対応し、館利用の様々な要望に応え、市民の満足度を高めてまいります。

ウ いわき市立草野心平記念文学館及びいわき市草野心平生家

文学館では、春、夏、冬の計3回の企画展を開催します。

春の企画展「草野心平の詩 青春無頼編」では、草野心平(1903～1988)が過ごした「青春無頼」の日々を、飾らない日常や印象に残る出来事について率直に記した随筆と関連資料から紹介します。

夏の企画展「寂聴 愛のことば展」では、作家で僧侶でもある瀬戸内寂聴(出家前の俗名晴美 1922～)の「愛」という主題によって貫かれた作品から、前期「若い人に」「生きる」「恋愛」、後期「書く」「出家」「詩」の2部に分けて、「愛」にちなんだことばを紹介し、自筆原稿、書簡、雑誌、書籍、草野心平との交友を示す資料などを展覧します。

冬の企画展「忍たま乱太郎ミュージアム」は、いわき市市制施行50周年記念事業「いわきサンシャイン博」の一環として開催します。子どもたちが協力して困難に立ち向かい、共に成長していくという普遍的な要素が盛り込まれた本作品は、1993年4月にNHKで放映が開始されて以来、家族で楽しめる作品と

して広く認知されています。愛され続ける“忍たま”の魅力を体感型アトラクションや作者の忍者道具コレクションなどで紹介し、東日本大震災を体験した子どもたちに元気と希望を与えるきっかけとします。また、全国的に知られている作品を取り上げることで、草野心平記念文学館の魅力や明るく元気な本市の姿を市内外に発信、アピールし、多くの来館者を呼び込みます。

生家では、「心平誕生日の市民朗読会」「子どもじゃんがら」「草野天平の集い」などを開催します。

エ いわき市暮らしの伝承郷

企画展は、4～5月に「端午の節句展—伝承郷収蔵品展—」、9～10月に市制50周年記念事業「いわき民俗学の先達者展」、2～3月に「写真で見るいわきの年中行事展」の3回開催します。特別展は、7～8月に『『超高速参勤交代』ロケ展』を行います。

講座は、第2回企画展に関連した民俗学講座を3回開催します。体験事業は、技術の伝承や伝統に親しむための体験学習を、四季折々の特色や年中行事の要素も織り交ぜながら31回開催します。新たに「竹のコースター」「鬼のお面作り」などを取り入れます。

そのほか、近年、行われることが少なくなった「盆棚飾り」「正月飾り」などの年中行事も再現し、新たに「蚊帳吊り」を取り入れ23回実施し、内容の充実を図ります。

古民家を中心とした園内の景観や昔の暮らしそのものを復元することにより、生活文化の伝承を目指します。また、川魚・干し柿・梅干し・干し大根などの実物の展示や、菜の花・朝顔・ひまわり・きゅうり・白菜などの花木・野菜を育成し、来園者に親しみの持てる空間の提供に努めます。

なお、従来の利用者層を維持し、ホームページにて伝承郷の利用画像や企画展の紹介画像をアップするなど、新たな利用者層の拡大に努めます。

オ いわき市生涯学習プラザ

平成28年度は、新たな指定管理期間5カ年の2年目にあたり、また、第5期生涯学習推進計画が4年目を迎えます。生涯学習の拠点施設としての役割を踏まえ、次のように事業を推進し、多様な市民ニーズに応えられるよう努めてまいります。

プラザが企画し運営する25の主催講座に加えて、サークルが自主運営する「サークル企画講座」、ITボランティアや子育て支援ボランティアが運営する「ボランティア活用講座」は参加者から高い評価を得ており、今後も継続して実施いたします。市民ニーズが高く応募者が多い「パソコン実用講座」は、引き続き内容の充実を図り開催してまいります。また27年度新規事業として好評だった「メディア指導員養成講座」を、28年度は幅広く市民を対象とした「メディア教養講座」として実施します。

他団体との共催事業としては、(一社)茶道裏千家淡交会いわき支部との「お茶会」、いわき華道連合会との「生け花展」などを開催いたします。

さらに平成28年度は市制施行50周年にあたり、全市的な事業の一環として第12回生涯学習フェスティバルを実施し市民の交流の場として一層充実させま

す。また、いわきヒューマンカレッジ(市民大学)は平成28年度も委託事業として受託し、内容の充実とともに一層の効率化を図ってまいります。

カ 福島県いわき海浜自然の家

心身ともに健全な青少年の育成と生涯学習の振興のため、利用者の自主・自立的な野外体験活動を、積極的に支援してまいります。

事故防止や、安全管理にもとづく安全・安心の確保、また、多様なニーズや目的に応じた事業の展開を図り、効率的な管理運営を行ってまいります。

公民館をはじめ教育文化施設との連携や、ボランティアの確保と養成に努め、利用者拡大と生涯学習施設としての、満足度向上を図ってまいります。

企画事業では、「オープンデー」などの利用促進事業や、「サマーキャンプ」などの啓発事業、また、「ウインターフェスティバル」などの国立・県立自然の家施設との連携をはかり、広い視野で事業展開してまいります。

このため、社会教育施設としての知識と技能、安全管理を維持するための各種免許の取得や技術の向上、接客力の向上を図り、「心配り」「気配り」のある健全で安心な施設の管理・運営に努めてまいります。さらに、ふくしまっ子自然の家体験活動応援事業を行います。

県教育庁とも密接に連携を図り、その要請と要望に応え、生涯学習施設としての役割である、社会の様々な課題に取り組みながら、県民に親しまれる施設づくりに努めてまいります。

キ いわき市勿来勤労青少年ホーム

運営に当たっては、条例・規則をはじめ関係法令を遵守し、市民が平等に安心して利用できるように、公平な運営に努めます。また、円滑な管理運営を行うため、地域との協調・連携を図ります。

施設の維持管理、設備の保全等に努め、利用者のニーズを把握し、勤労青少年の意向を反映した内容の講座を開設します。

教養講座は、年間講座として14講座、短期講座として2講座を継続するとともに、特に女性に人気のあるダイエットを兼ねたベリーダンスやヨガ等の充実を図ります。

また、生活、職業等に関する相談及び指導のほか、各種レクリエーション活動や交流の輪を拡大するなど、勤労青少年の健全育成に努めます。

そのほか、県内6施設が中心となって運営する福島県勤労青少年ホーム連絡協議会では、スポーツ交流イベントである「第44回福島県勤労青少年ホーム交歓会」が平成28年8月28日(日)いわき市で開催することから、大会運営に全力で努めます。

ク 「みんなでまなぼう いわきの歴史」改訂事業

市制50周年記念事業として、現在配付している同名冊子に加筆し、市の歴史を古代から現代に至るまで総括的に学べる資料の製作事業を受託します。

3 管理部門(法人会計)

(1) 業務執行体制等

公益財団法人へ移行して3年目となり、引き続き関係法令及び諸規程を遵守し、円滑な管理運営事務の遂行に努めてまいります。4月から4名を新規採用し、各所属の事業運営に見合った組織づくり・事業管理に努めてまいります。

(2) アクションプラン(行動計画)の作成

平成27年度より新たに作成開始し、各所属の目標達成に向けた具体的なプランを掲げることで、さまざまな事業を展開していく動機付けとなっております(別冊「平成28年度アクションプラン」参照)。

(3) 情報開示

当財団の事業計画や事業報告、財務諸表の公開はもとより、管理運営をおこなう事業の内容等についても、ホームページを通じて迅速な情報提供・発信に努めます。また、法人運営全般について、公正・公平性や透明性の確保に努めてまいります。

(4) 研修、啓発・広報等

新規採用職員の研修実施、自主研修制度(図書購入補助を含む)の活用促進、関係資格の取得や研修への積極的な参加等により、職員教育に努めてまいります。

公民館講座や地域に出向いての講座講師派遣を行う出前講座は、平成27年度も大変好評であり、引き続き積極的に行ってまいります。「いわきのたからものずかん」シリーズの刊行も行い、また、講演会を開催するなどして、いわき市の貴重な文化財を幅広い年代の市民に知っていただくため努力してまいります。こうした事業活動を意欲的に行うことで、当財団の公益法人としての価値をさらに高めてまいります。

4 職員に関する事項

平成28年1月1日現在

(1) 事務局

括弧内数字：兼務職員数 単位：名

区分	事務局長 同相当職	次長 同相当職	係長 同相当職	主任職	係員	嘱託 職員	日々雇用 職員	計
事務局	3	2	—	—	—	—	—	5
企画管理係	—	1	—	1	1	—	5	8
調査第一係	—	1	—	—	3	—	—	4
調査第二係	—	—	2	—	—	—	15	17
計	3	4	2	1	4	0	20	34

(2) 施設

区分	館長 副館長	次長 同相当職	係長 同相当職	主任職	係員	嘱託 職員	日々雇用 職員	計
アンモナイト センター	1	—	1	—	—	1	1	4
考古資料館	(1)	(1)	(2)	—	(1)	—	—	0 (5)
文学館	2	—	2	—	—	—	4	8
伝承郷	1	—	1	—	1	—	4	7
生涯学習 プラザ	1	1	1	1	1	—	6	11
いわき海浜 自然の家	2	—	—	2	3	3	7	17
勿来勤労 青少年ホーム	1	—	—	—	—	—	2	3
計	8 (1)	1 (1)	5 (2)	3	5 (1)	4	24	50 (5)

合計	11 (1)	5 (1)	7 (2)	4	9 (1)	4	44	84 (5)
----	-----------	----------	----------	---	----------	---	----	-----------

収 支 予 算 書

収 支 予 算 書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位千円)

科 目	当年度	前年度	増減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益 (A)	32	32	0	
基本財産受取利息	32	32	0	
事業収益 (B)	592,684	608,703	△16,019	
文化財調査受託料	199,861	221,909	△22,048	15件の事業受託
施設指定管理料	380,629	376,817	3,812	8つの施設
いわき市アンモナイトセンター	16,895	16,432	463	
いわき市考古資料館	13,001	12,901	100	
いわき市立草野心平記念文学館	67,879	67,794	85	
いわき市草野心平生家	3,151	3,151	0	
いわき市暮らしの伝承郷	40,450	40,450	0	
いわき市生涯学習プラザ	85,432	85,304	128	
福島県いわき海浜自然の家	141,038	138,470	2,568	
いわき市勿来勤労青少年ホーム	12,783	12,315	468	
施設事業受託料	7,196	5,215	1,981	3件の事業受託
いわきヒューマンカレッジ	3,633	3,633	0	
ふくしまっ子自然体験活動応援	1,582	1,582	0	
みんなで学ぼういわきの歴史	1,981	0	1,981	
施設利用料	4,758	4,575	183	1つの施設
出版物頒布料	240	187	53	
受取負担金 (C)	0	0	0	
講師派遣料	0	0	0	
受取寄附金 (D)	0	0	0	
寄附金	0	0	0	
雑収益 (E)	345	333	12	
受取利息	23	23	0	
雑収益	322	310	12	
経常収益計 (F)	593,061	609,068	△16,007	(A~E)
(2) 経常費用				
事業費 (G)	570,933	598,627	△27,694	
給料手当	134,972	142,141	△7,169	
賃金	141,117	161,852	△20,735	
共済費	43,612	44,262	△650	
報償費	6,166	6,148	18	
旅費	5,952	5,655	297	
消耗品費	10,388	11,658	△1,270	
被服費	681	469	212	
燃料費	9,563	10,701	△1,138	
食糧費	425	413	12	
印刷製本費	18,330	14,324	4,006	
光熱水費	33,974	33,474	500	

収 支 予 算 書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位千円)

科 目	当年度	前年度	増減	備 考
修繕費	6,020	5,205	815	
医薬材料費	105	130	△25	
通信運搬費	6,336	7,989	△1,653	
広告料	308	363	△55	
手数料	1,562	1,731	△169	
保険料	1,019	1,013	6	
委託料	70,437	67,035	3,402	
使用料及び賃借料	50,773	52,417	△1,644	
工事請負費	1,318	994	324	
原材料費	552	806	△254	
負担金	354	409	△55	
公租公課	26,362	28,018	△1,656	
消耗什器備品費	278	878	△600	
減価償却費	329	542	△213	
管理費 (H)	35,008	33,733	1,275	
報酬	399	399	0	
給料手当	14,223	10,671	3,552	
賃金	5,261	7,005	△1,744	
共済費	4,073	3,634	439	
報償費	354	486	△132	
旅費	682	777	△95	
交際費	80	80	0	
消耗品費	746	1,007	△261	
被服費	30	30	0	
燃料費	72	135	△63	
食糧費	107	107	0	
印刷製本費	2,012	2,650	△638	
光熱水費	150	150	0	
修繕費	200	200	0	
通信運搬費	516	318	198	
広告料	50	50	0	
手数料	496	537	△41	
保険料	57	82	△25	
委託料	518	706	△188	
使用料及び賃借料	2,122	1,631	491	
負担金	732	732	0	
補償費	38	38	0	
公租公課	1,410	1,628	△218	
消耗什器備品費	500	500	0	
減価償却費	180	180	0	
経常費用計 (I)	605,941	632,360	△26,419	(G+H)
当期経常増減額 (J)	△12,880	△23,292	10,412	(F-I)

収 支 予 算 書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位千円)

科 目	当年度	前年度	増減	備 考
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計 (K)	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計 (L)	0	0	0	
当期経常外増減額 (M)	0	0	0	(K-L)
当期一般正味財産増減額 (N)	△12,880	△23,292	10,412	(J+M)
一般正味財産期首残高 (O)	103,130	126,422	△23,292	
一般正味財産期末残高 (P)	90,250	103,130	△12,880	(N+O)
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額 (Q)	0	0	0	
指定正味財産期首残高 (R)	10,000	10,000	0	
指定正味財産期末残高 (S)	10,000	10,000	0	(Q+R)
III 正味財産期末残高	100,250	113,130	△12,880	(P+S)

資金調達及び設備投資の見込について

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

1 資金調達の見込について

借入の予定	<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業番号	借入先	金額	使途	

2 設備投資の見込について

設備投資の予定	<input checked="" type="checkbox"/>	あり	<input type="checkbox"/>	なし
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法 又は取得資金の使途	
公1	埋蔵文化財整理室整備	900千円	自己資金	
法人会計	事務局事務室整備	900千円	自己資金	